

基本の方向性 II 健康維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり(疾病予防と健康増進)

取組分野 5 歯・口腔 ※3 市民健康診査問診票の変更による

評価指標	計画策定時	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	目標値
3歳6か月児歯科健診におけるむし歯がない幼児の増加	85.5%	86.5%	88.6%	90%	92%		86%
年に1度以上、歯科健診を受けている人の増加	33.9%※1	《参考57.4%》※2	《参考58.3%》※2	—	—		45%
補助的清掃用具の使用について普及啓発をすることで、口腔内のセルフケアをしている人の増加	54.1%	61.0%	61.1%	—※3	—		65.0%
80歳(75~84歳)で20本以上自分の歯を有する人の増加	38.1%※1	《参考42.9%》※2	《参考43.0%》※2	—	—		50.0%

データ抽出元 ※1:健康状況アンケート調査 ※2:市民健康診査、特定健康診査問診票

重点目標 <いつまでも自分の歯でおいしく食べられる人を増やす>

基本施策 ○乳幼児健診におけるむし歯予防の推進

市の主な取組(事業名) 内容	目標値・実績値等	年度					実施状況及び成果等(R3)	担当課 評価	課題と今後の対策(方向性)	
		H30	R1	R2	R3	R4				
<b>ア 歯科保健事業</b>										
a) 妊婦歯科健康診査	指標	妊婦歯科健診受診率(%)					母子健康手帳交付時、受診の必要性を説明して妊娠中から口腔衛生に関心を持つきっかけとなるよう、受診勧奨に努めた。母子健康手帳交付778人 受診数160人	A	より多くの妊婦やその家族に、口腔衛生に関心を持てるよう、受診を促し、妊婦と胎児の健康管理及び早産や低出生体重児の出産リスクの軽減に努める。	こども家庭支援課
目的:妊婦の口腔衛生の向上を図り、胎児の健全な発育を促す。	目標値	20	20	20.5	20.5	21				
内容:母子保健法第13条に基づき、秦野伊勢原歯科医師会に委託し、妊娠中1回の歯科健康診査費用の補助を実施 ※平成30年6月からの開始事業	実績値	14.3	20.3	20.8	20.6					
b) 乳幼児健康診査における歯科健診及び歯科相談	指標	3歳6か月児健診時の虫歯がない幼児の割合(%)					歯が生え始める7か月児健診から個別の歯科保健指導を実施し、特に1歳6か月児健診や2歳児歯科健診において個別の歯科相談を行い、むし歯の発生予防や母乳、ミルク、食事、おやつ等の食生活、仕上げ磨き、また噛む大切さを伝えることで、口腔の保持増進に努めた。	A	引き続き、健康な体の基礎が作られる乳幼児期からの口腔の保持増進に努める。	こども家庭支援課
目的:生涯にわたっての、口腔の健康保持増進を図る。	目標値	86	86	87	87	88				
内容:乳幼児健診において、歯科健診及び歯科相談を実施	実績値	86.5	88.6	90	92%					
c) 幼児食と歯のセミナー	指標	自宅で虫歯予防を実践できそうと思った割合(%)					「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣づくりと発達との関係性を伝え、食を通じたむし歯予防と、家族での生活習慣の見直しを啓発した。 新型コロナウイルス拡大防止のため、1回毎の参加者数を制限し、試食の提供は休止した。 実施回数 9回、参加者数 118人	A	参加しやすいように7か月児健診時にリーフレットを配布し、家族で食育及び虫歯予防に取り組めるよう支援に努める。	こども家庭支援課
目的:子どもの食べる意欲、身体、情緒、ことばの発達を促す食事の大切さを伝える。	目標値	100	100	100	100	100				
内容:食することからのむし歯予防を啓発し、食事の大切さを伝える教室の開催	実績値	100	98.1	100	100					

○予防歯科及びかかりつけ歯科医の必要性の普及啓発

市の主な取組(事業名) 内容	目標値・実績値等	年度					実施状況及び成果等(R3)	担当課 評価	課題と今後の対策(方向性)	
		H30	R1	R2	R3	R4				
a) 歯周病検診	指標	歯周病健診受診率(%)					歯周疾患による口腔機能低下を予防するために、対象年齢へ受診券を送付し、歯周病検診を実施。R2に引き続き、新型コロナウイルスの影響による受診控え、受診者数が伸びなかったため、12月にSNSによる情報発信、広報掲載にて周知したが、実施率は低下した。	C	歯周病検診の効果的な周知方法について、秦野伊勢原歯科医師会と検討し、受診率の向上を図っていく。また、初年度の40歳を対象に、追加で個別勧奨するなど、周知を強化していく。	健康づくり課
目的:歯周病の早期発見・早期治療につなげる。	目標値	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9				
内容:40・50・60・70歳での検診を秦野伊勢原歯科医師会に委託し実施	実績値	5.9	5.6	5.4	2.7					

イ 歯科保健普及啓発事業(歯と口の健康週間事業)

a) 歯と口の口腔ケア講演会	指標	口腔ケア講演会の参加者数(人)					新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年、歯と口の健康週間に実施する講演会は中止したが、歯科休日急患診療所の周知のため、啓発カードを配布した。 国保加入者へ送付する特定検診リーフレットにオーラルフレイル予防・口腔ケアの情報提供を掲載し、普及啓発に努めた。	B	講演会については、公共施設へのちらしの設置だけでなく、自治会回覧等による周知を継続し、参加者の増加を図る。	健康づくり課
目的:歯と口腔に関心がある人を増やす。	目標値	130	135	135	140	140				
内容:正しい歯と口腔のセルフケアを普及する講演会の実施	実績値	130	157	—	—					
b) 口腔がん検診	指標	口腔がん検診の受診者数(人)					歯と口の健康週間に実施していた口腔がん検診は、時期をずらして1月に実施した。 感染症対策のため、待合室が混み合わないよう事前申し込み制(定員20名)として、定員を変更して実施した。周知は広報のみで行った。	C	1人でも多くの方が早期発見、早期治療に繋がるよう、歯科医師会と受診方法の検討が必要。各医療機関での実施に移行することも継続して検討していく。	健康づくり課
目的:口腔がんの早期発見・早期治療	目標値	50	70	70	70	70				
内容:口腔がん検診の実施	実績値	57	68	—	18					

ウ 一般介護予防事業(口腔)

指標	口腔に関する講座の延参加者数(人)					○公民館等で行う口腔講座 ・「フレイル予防で健康長寿」3会場 延41人 ・出前講座 19回 延287人 ○ミニデイサービスでの講座 1回 延16人 ○いきいき運動コースでの講座 4回 延82人 ○後期高齢者健診低栄養フォロー支援(口腔支援含む) 実22人 ○日常生活支援総合事業「おいしく食べよう歯つばい訪問(訪問C)」 口腔訪問件数:延47人	B	通いの場や各公民館で講座を行うなど、地域に出向き、口腔ケアの周知を図った。また、後期高齢者健診受診者への低栄養防止支援では口腔環境の改善に関する内容も取り入れ、口の健康から体の健康につながるよう、個別支援を行った。 「介護予防・日常生活支援総合事業」の1つ、自立支援・重度化防止の推進対策として管理栄養士や歯科衛生士による訪問支援を強化し、要介護状態への移行を防ぐ支援を行った。今後も地域高齢者支援センターと連携し、オーラルフレイルについての普及啓発を充実させるとともに、個別の状況に合わせて支援の充実を図る。	高齢介護課
目標値	800	850	900	950	1000				
実績値	693	700	187 ⇒397	426					